

# 新型コロナウイルス感染症に関する 村からのお願い

新型コロナウイルス感染症への対応は、長期になることが予測されます。国では、感染拡大を防ぐために、今後、日常生活の中で取り入れていただきたい実践例を示しており、以下はその一部となります。皆様も実践していただくようご協力をお願いいたします。

## 日常を営む上での基本的生活様式

- ◆ こまめに手洗い・手指消毒を行う。手洗いは30秒以上かけて水と石けんで丁寧に洗う。
- ◆ 外出時や人と会うときはマスクを着用する。咳エチケットを徹底する。
- ◆ こまめに換気する。
- ◆ 身体的距離を確保する（できるだけ2メートル（最低1メートル）空ける。）。
- ◆ 人が集まる密集場所、人との密接場面、換気の悪い密閉空間を避ける。
- ◆ 毎朝、体温測定、健康チェックを行う。発熱や風邪の症状がある場合は自宅で療養する。
- ◆ 健康状態に応じた運動や食事、禁煙等の適切な生活習慣を理解し、実践する。

## 一人一人の基本的感染対策について

- ◆ 感染防止の3つの基本は、①手洗い、②マスクの着用、③身体的距離の確保です。
  - ・会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
  - ・家に帰ったら、手や顔を洗う。
  - ・人混みの多い場所に行った後は、できるだけ直ぐに着替える。シャワーを浴びる。
  - ・高齢者や持病のある方など重症化のリスクが高い方は、体調管理を厳重にする。
- ◆ 移動に関する感染対策
  - ・地域の感染状況に注意する。感染が流行している地域への往来は控える。
  - ・発症したときのため、誰とどこで会ったかメモをとる。

## 日常生活の各場面の生活様式

- ◆ 買い物
  - ・短時間で行う。サンプルや展示品への接触は控える。
  - ・レジに並ぶときは前後にスペースを空ける。
- ◆ 娯楽・スポーツ等
  - ・公園はすいた時間で利用する。場所を選ぶ。
  - ・ウォーキングやジョギングは少人数で行う。
  - ・狭い空間での長居はしない。
  - ・人とすれ違う時は距離をとる。
- ◆ 食事
  - ・大皿は避けて、料理は個々に盛り付けする。
  - ・対面は避け、横並びで座る。
- ◆ 行事などへの参加
  - ・発熱や風邪の症状がある場合は参加しない。
  - ・厚生労働省の「接触確認アプリ」を活用する。

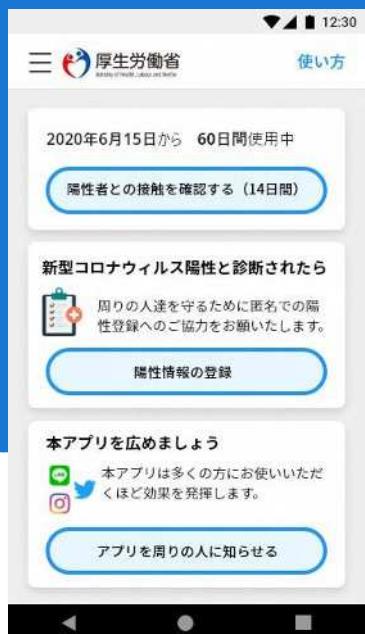
自分をまもり、大切な人をまもり、  
地域と社会をまもるために、  
接触確認アプリをインストールしましょう。

厚生労働省

# 新型コロナウイルス 接触確認アプリ (略称:cococa)

COVID-19 Contact Confirming Application

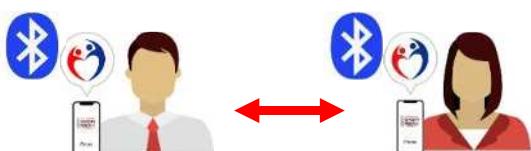
接触確認アプリは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです



○本アプリは、利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からぬようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができるアプリです。

○利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

ユーメートル以内、15分以上の接觸した可能性



- ・接觸に関する記録は、端末の中だけで管理し、外にはでません
  - ・どこで、いつ、誰と接觸したのかは、互いにわかりません
- ※端末の中のみで接觸の情報（ランダムな符号）を記録します  
※記録は14日経過後に無効となります  
※連絡先、位置情報など個人が特定される情報は記録しません  
※ブルートゥースをオフにすると情報を記録しません

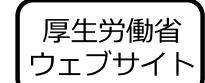
iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



詳しくはこちら



# 新型コロナウィルス接触確認アプリ 利用者向けQ&A

## 問1 接触確認アプリとは、どのようなものですか。

利用者ご本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、お互いに分からぬようプライバシーを確保して、新型コロナウィルス感染症の陽性者と接触した可能性について、通知を受けることができます。なお、本アプリはApple社とGoogle社が提供しているアプリケーション・プログラミング・インターフェイス(API)を元に開発しています。

## 問2 アプリを利用することで、どのようなメリットがありますか。

利用者は、新型コロナウィルス感染症の陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることが期待されます。

## 問3 他の利用者との接触をどのように記録するのですか。

スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、ほかのスマートフォンとの近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を接触として検知します。近接した状態の情報は、ご本人のスマートフォンの中にのみ暗号化して記録され、14日が経過した後に自動的に無効になります。この記録は、端末から外部に出ることはなく、利用者はアプリを削除することで、いつでも任意に記録を削除できます。

## 問4 個人情報が収集されることはないですか。

氏名・電話番号・メールアドレスなどの個人の特定につながる情報を入力いただくことはありません。他のスマートフォンとの近接した状態の情報は、暗号化のうえ、ご本人のスマートフォンの中にのみ記録され、14日の経過した後に自動的に無効になります。行政機関や第三者者が接触の記録や個人の情報を利用し、収集することはありません。

## 問5 位置情報を利用するのですか。

GPSなどの位置情報を利用することなく、記録することもありません。

## 問6 他の利用者との接触を検知する目安はありますか。

ご利用のスマートフォン同士が、概ね1メートル以内の距離で15分以上の近接した状態にあった場合、接触として検知される可能性が高くなります。機器の性能や周辺環境（ガラス窓や薄い障壁など）、端末を所持する方向などの条件や状態により、計測する距離や時間に差が生じますので、正確性を保証するものではありません。

## 問7 利用はいつでも中止できますか。

いつでも任意にアプリの利用を中止し、アプリを削除することで、すべての過去14日間分までの記録を削除できます。

## 問8 アプリでは、どのような通知がきますか。

新型コロナウィルス感染症の陽性者が、本人の同意のもと、陽性者であることを登録した場合に、その陽性者と過去14日間に、概ね1メートル以内で15分以上の近接した状態の可能性があった場合に通知されます。通知を受けた後は、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来等の連絡先が表示され、検査の受診などが案内されます。

## 問9 新型コロナウィルス感染症の陽性者がアプリで登録したら通知はすぐにきますか。

利用者への通知は、1日1回程度となっております。アプリへの登録のタイミングによっては、すぐに通知されない場合があります。なお、アプリの設定で「通知をON」にしていただくと、通知があった場合に画面上に通知メッセージが表示されます。

## 問10 新型コロナウィルス感染症の陽性者と診断されましたら、アプリで登録しなかつたらどうなりますか。

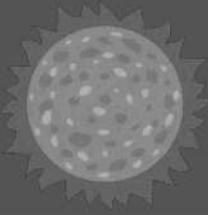
陽性者と診断された場合に、アプリへの登録は、利用者の同意が前提であり、任意です。登録いただくことで、あなたと接触した可能性がある方が、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。

## 問11 陽性者との接触の可能性が確認されたとの通知を受けたら、何をすればいいですか。

アプリの画面に表示される手順に沿って、ご自身の症状などを選択いただくと、帰国者・接触者外来などの連絡先が表示され、検査の受診などを案内します。

## 問12 厚生労働省ではアプリで得た情報を何に利用するのですか。

厚生労働省では、アプリにより、利用者のデータを利用し、収集することはありません。利用者に氏名・電話番号などの個人情報を入力いただくこともありません。



# 令和2年度の 熱中症予防行動

環境省  
厚生労働省  
令和2年5月

## 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント

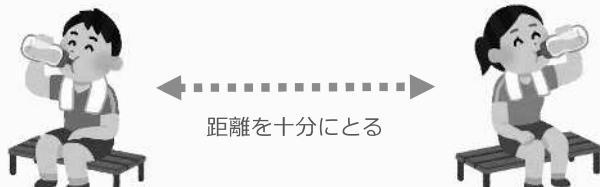
新型コロナウイルスの出現に伴い、感染防止の3つの基本である①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。このような「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

### 1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなったりした日等は特に注意する



### 2 適宜マスクをはずしましょう



- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

### 3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

### 4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

### 5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

高齢者、子ども、障害者の方々は、熱中症になりやすいので十分に注意しましょう。3密（密集、密接、密閉）を避けつつ、周囲の方からも積極的な声かけをお願いします。

